

《 理事 》

木村修介 【 合同会社 RURA アイ・エル訪問看護ステーション 】

生活行為向上マネジメント推進委員会の担当理事として今期は活動しました。県内での普及率は未だ低く道半ばです。

又、昨年の臨時総会にて新しく創設された地域包括ケアシステム推進委員会も兼任し、これからの OT 士会の地域貢献をスタートさせたところです。PT、ST、関連団体との協調は当然大切ですが、我々 OT の役割を明確にして県民の健康に寄与できる団体として力強く活動して参ります。

錠内広之 【 日本鋼管病院 】

地域包括ケアシステムの構築ということを重点項目として、県士会として具体的に何が出来るのかを考えていきたいと思えます。前期は会長としてある程度の基盤が出来たと思えますので今期は実行に向けた取り組みに重視していきたいと思えます。

作田浩行 【 昭和大学保健医療学部 】

2005 年から 6 期、理事として県士会運営とともに県士会サイトの管理・運営を行ってきました。

この間、業者に依頼することなくすべて手作りで県士会サイトを作成・発展させてきました。特に 5 期目である前期には、“連携”をキーワードに、事務局との連携強化によって会員へのタイムリーな情報発信を行い、さらに財務部など他部署との連携のもと県士会活動の“見える化”をねらった独立コンテンツである「県士会活動☆あらかると」を立ち上げました。

今回、この連携をさらに強固で安定したものにするとともに、県士会サイトにて適切かつ有益な情報の発信を続けるため理事へ立候補しました。

よろしく願い申し上げます。

佐藤良枝 【 曾我病院 】

平成 27 年度より財務部の理事を 1 期 2 年務めてまいりました。

その間、複数部門との合同提案を行い (1) 会費の円滑な納入支援 (2) 会計処理の円滑化と明確化 (3) 中期的視点に立った会計管理について提案・実行を行いました。

また、ウェブサイト管理委員会との合同提案により県士会サイトに新設された「県士会活動☆あらかると」をはじめブログ「財務部 job's ぱちぱちだけじゃおまへんで」や県士会ニュースにより財務部活動の広報にも努めてきました。さらなる展開を求めて理事に立候補いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

奥原孝幸 【 神奈川県立保健福祉大学 】

このたび神奈川県作業療法士会理事に立候補いたしました奥原孝幸です。2007年度より4期教育部担当の理事として、日本作業療法士協会の生涯教育制度の変遷とともに県士会での関連事業を継続して担当させていただきました。作業療法士の職能団体として重要な本制度ですが、十分な推進状況ではございません。微力ながらではありますが、引き続き推進の役目を担いたいと強く思っています。

また、神奈川県作業療法士会の理事として本会の発展が作業療法士個人々の成長につながるよう継続して努力して参る所存です。

引き続きこの仕事を続けさせていただきますよう、ご推挙のほどよろしくご願ひ申し上げます。

名古屋和茂 【 横浜 YMCA 学院専門学校 】

公益及び規約委員会担当理事としてこの2年間活動してきました。

様々な諸問題を少しずつではありますが整理し、法人として整えてきました。

まだ残している課題もありますので継続して活動したく立候補させていただきます。

澤口勇 【 藤沢病院 】

私は平成5年に県内の精神科病院に入職後、院内OT、精神科デイケアなどに勤務、現在は精神科訪問看護部門に専従しています。昨今、我が国も2025年の高齢化に備え地域包括ケアシステムの構築が叫ばれており、作業療法（士）も施設に勤める傍ら地域にも貢献するよう軸足がシフトしてきました。私たちの資格は国家資格であり、当然広く国民のために従事すべき資格であると思っています。平成30年度には診療報酬や介護保険、医療法、地域医療計画や障害福祉計画など諸制度の改正を控え、平成29年度はそのステップの年となります。

平成19年度より私は県士会において事務局長を拝命し県士会の法人化を全理事や皆さんとともに進めてまいりました。平成27年度からは副会長として主に県内外の渉外活動に従事して参りましたがいよいよ来期からが大変重要な年となります。

引き続き皆さんの支えになるべく立候補させて頂くことを決心致しました。どうぞよろしくご願ひ致します。

大郷和成 【 NPO 法人 laule'a 】

私は、7年前より県士会の委員として務めさせていただき、現在は制度対策部災害対策班の班長と地域包括ケアシステム推進委員会を兼任しております。元々は回復期から生活期を支援する病院に勤めておりましたが、2年前に地域における作業療法のニーズと可能性を感じて病院を退職。現在はNPO法人 laule'a の副理事長として、藤沢市にて児童発達支援・放課後等デイサービス「遊びリパーク リノア」を運営し、地域に根差した障害児支援を通して地域づくりに取り組んでおります。

「人と地域をもっと健康に！」をモットーに作業療法士がもつ能力を活かして地域・社会貢献をしていきたいと思っております。

皆さんの力を合わせてワクワクする県士会を創っていきましょう！

佐々木秀一 【 北里大学東病院 】

今回、初めて理事に立候補いたします北里大学東病院の佐々木秀一と申します。身体障害領域を中心に10年以上臨床現場で従事し、現在は回復期リハビリの臨床だけでなく大学院において研究活動も行っております。県士会では、学術部員、地域リハ部員を経験し、昨年は神奈川県作業療法士会研究助成の承認を頂き、現在上肢機能に関する研究を進めているところです。近年、MTDLPの実践や地域ケアシステムの体制の構築、平成30年診療報酬・介護報酬の同時改定においては、作業療法士が重要な役割を果たす可能性があります。作業療法や神奈川県作業療法士会のさらなる発展、県士会員の皆様に貢献できる仕事を行っていききたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

吉本雅一 【 湘南鎌倉総合病院 】

昨期まで2期4年間、福利部の理事を務めさせていただきました。新入会員オリエンテーションの開催、求人对応、倫理問題対策、各種表彰制度の構築と推薦、職場見学会・体験会を企画運営して参りました。今後も会員の皆様のために、学術、生涯教育だけでなく、様々な会員の方々への企画やサポート制度を築いていきたいと考えております。企画や活動を通して、会員同士の交流も図れればと感じています。また会員の皆様の活動を受け、日本作業療法士協会だけでなく関連団体・行政への働きかけの強化や、功績の表彰も推進して参ります。さらに神奈川県作業療法士会の組織率の向上と新入会員の促進、県士会功労表彰の実現に向けて尽力したいと考えております。公益社団法人化に向けて、組織のさらなる改革を行い、内外にも必要とされる組織運営を進めていきます。今後も神奈川県の作業療法、神奈川県作業療法士会の発展に寄与したいと思います。

神保武則 【 北里大学病院 】

今後も引き続き県士会のお役に立てればと思い、理事に立候補いたします北里大学病院の神保です。神奈川県内および県外に対して、広くOTをアピールする場を設け、更なる活性化を見据えた活動に寄与していきたいと考えております。また、今後の地域包括ケアに向けた基盤づくりを整え、我々OTの更なる活動の場を広げていければと思います。何卒宜しくお願い致します。

野本義則 【 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 】

私は神奈川県内の精神科病院で臨床に携わり、現在は県内の作業療法士養成校にて教務主任をしております。これまで士会の業務として、副事務局長を4年、広報部担当理事を2

年、また埼玉県でウェブサイト管理担当理事を2年務めました。

前期である平成27・28年度は制度対策部担当理事として、作業療法を取り巻く社会制度に関しての情報発信や対応、福祉用具に関する研修会開催や情報提供、災害対策では協会との連携などを行いました。特に定期的な社会制度情報の発信、福祉用具研修ではより参加しやすくなるように開催方法を改善、熊本地震時にはJRAT及び協会との速やかな連携、これらをはじめとする様々な活動を、部内のメンバーの協力のもと実施できました。

今期も県民と県士会員のために作業療法の普及促進に努め、また教員の立場から未来の作業療法士のためにも尽力したいと考えております。ご支援の程、どうぞよろしくお願いいたします。

村越妙美 【 川崎医療生活協同組合介護福祉事業部おおしま訪問看護ステーション 】

平成27年度より認知症対策委員会の担当理事をさせていただきました。1期任務に就き作業療法士の仕事について改めてすばらしい職業だと思いました。神奈川県作業療法士会の理事としては1年生で学ぶことも多く一緒に活動した部員をはじめとした士会員の方々に助けていただきました。今期、又理事として県士会の発展に寄与できればと思い立候補させていただきました。

玖島弘規 【 横浜旭中央総合病院 】

この度、理事に立候補させていただきました玖島弘規です。私は学会評議員として2期4年間に渡り、県士会運営に携わらせて頂きました。その中でも神奈川県作業療法学会や臨床作業療法大会の運営に携わることが多く、大勢の県士会会員とかかわる機会を得ることができました。その関わりの中で一人一人が作業療法士としての自覚と誇りを持ち、職務にあたっていると感じました。

その想いをさらに発展させるべく、学会や大会の運営方法と内容を再構築し、より参加意義のあるものにしていきたいと思えます。またその活動を通して、神奈川県作業療法士会を盛り上げるとともに、作業療法の魅力を一般の方々へも発信していきたいと考えています。実現に向け尽力してまいりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

金山桂 【 介護老人保健施設 千の風 川崎 】

私は8年間事務局部員として県士会活動に参加させていただいています。その間に介護予防で地域に出る機会もあり、地域で作業療法士が求められていること、また、作業療法士が活躍できることを身をもって経験しました。地域で作業療法士が求められた時に、会員の皆さまと地域を結びつけていけるお手伝いができればと考えています。また地域で作業療法士が求められるような情報提供も行っていきたいと考えています。

野々垣睦美 【 クラブハウスすてっぷなな 】

このたび理事に立候補しました野々垣睦美です。現職として活動してきましたが、平成29年度も継続して責務を果たしたいと考えています。

神奈川県作業療法士会が社会的に信用され、県民のみなさまに信頼される団体として活躍できるよう、貢献していきたいと考えております。

どうぞよろしくお願い致します。

遠藤陵晃 【 クローバーホスピタル 】

このたび理事に立候補致しました遠藤陵晃と申します。

私は、平成27、28年度地域リハビリテーション部の担当理事を務めてさせていただきました。地域リハビリテーション部として、地域リハビリテーション人材育成研修会をはじめとする研修開催やリハビリ専門職である理学療法士会、言語聴覚士会と協働事業、県など行政機関や関係団体との連携すること努めて参りました。また、第2回神奈川県臨床作業療法大会大会長、神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の役員も務めさせていただきました。

近年、地域包括ケアシステムについて話が多く聞かれます。地域における作業療法士の役割、県内での作業療法士の位置づけを明確にするために継続して行政、関係機関と連携し、作業療法士をアピールいたします。神奈川県作業療法士会として、地域包括ケアシステムの一翼を作業療法士が担えるように務めていければと考えます。どうぞよろしくお願い致します。

《 監事 》

田中ゆかり 【 藤沢市保健医療センター 】

平成27・28年度、はじめて監事という立場で県士会に関わらせて頂きました。

県士会員や県民のニーズに応えられる県士会活動を行っていくのはもちろんのこと、この先大きな法制度の改定もあり、時代のニーズに見合った職能団体としての活動も求められます。より多くの会員が士会活動に参加し、団体としても成長していけるよう、微力ながら支えていきたいと思っています。